

ながと

市議会だより

Nagato City Council

9

月定例会

No.55

2019 (令和元年) 11/1

活動
紹介

リサイクルセンター・一般廃棄物最終処分場

現地視察を実施

(総務民生委員会)



INDEX

- ▶ 9月定例会 2～5ページ
- ▶ 一般質問 6～8ページ
- ▶ 研究会報告・議員研修会 9ページ
- ▶ 議会報告会 10～11ページ



19 議案を可決・認定・適任

9 月 定例会

9月定例会は9月13日（金）から10日7日（金）までの25日間の会期で開きました。1億5,153万円の一般会計補正予算（第3号）を含む19議案全てを原案のとおり可決・認定・適任としました。

▼議案第1号 令和元年度長門市一般会計補正予算（第3号）

ながと健幸百寿プロジェクト

食・温泉・森林を活用

健幸資源活用によるまち・ひとづくり事業

・健康増進課 1749万円
・観光課 6797万円

問 この事業は「ながと健幸百寿プロジェクト」が取り組む施策のひとつとして、健康な食、温泉、森林を活用した健康対策を進めるものです。

答 6月定例会で議決された健幸百寿プロジェクト事業との関係は。

問 議決された健幸百寿プロジェクト事業費のうち、専門会議の委員報償費、委員の旅費2回分について、地方創生推進交付金の内示を受けたことから本事業へ予算の組み替えを行うものである。

答 ライフスタイル構築・高齢者雇用拡大イベントの内容は。

問 シニア層を中心とした雇用創出を目的に、新たなライフスタイルの構築に向けた意識醸成を進める講演会の開催、健康づくりの意識啓発等を目的とした映画上映、山口県立大学との連携による食生活に関する実態調査等を考えている。

答 これまで開催された温泉ガストロノミーウォーキングについての経緯と今後の事業展開は。

問 この事業は温泉だけではなく、美食や景観すべてを楽しむなど、健康づくりにも寄与できる新しい温泉旅のスタイルと捉えている。過去4回の集客数、宿泊客数からしてもこの事業を確立させていきたい。

中山間地域所得向上支援事業 6250万円

小規模の整備も可能に

この事業は、当初予算において、「産地パワーアップ事業」として計上していた農産物加工施設等の整備への支援について、より事業目的に則した国の補助事業を活用し、実施することとしたことから、予算の組換えを行うものです。

答 中山間地域所得向上支援事業は、中山間地域における所得向上に向けた実践的な計画策定、土地の基盤整備、生産販売等の施設整備を総合的に支援する事業である。

問 補助事業の具体的な内容及び産地パワーアップ事業との相違点は。

農産物の生産規模の拡大を狙った産地パワーアップ事業に対し、本事業は農作物の加工販売を狙った事業であり、産地の面積拡大の要件がなく小規模の整備も可能である。

放課後児童対策事業 603万円

深川児童クラブを拡充

これは、利用定員を超える児童を受け入れて保育を実施している児童クラブの保育環境を改善する事業です。

深川児童クラブに、新たな教室を開設するために必要となる人件費等の経費を追加計上し、保育環境の向上を図ります。

▼深川児童クラブ



空き家対策事業 267万円

見込みを上回る申請件数に

空き家除却事業に係る補助金について、当初予算を上回る補助申請が見込まれることから、不足分を追加計上するものです。

問 今年度の補助申請件数は。

答 8月末時点で4件の申請があり、年度末までにさらに3件の申請があるものと見込んでいる。

施設等利用給付事業 1525万円

子育て世帯の負担軽減を

この事業は幼児教育・保育の無償化に伴い、保育の必要性の認定を受けた幼稚園の預かり保育利用者等の利用料を月額1万1300円までの範囲で無償化することで、子育て世帯の負担軽減を図る事業です。

9月定例会議決結果

議案番号	件名	結果
1	令和元年度長門市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
2	令和元年度長門市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
3	令和元年度長門市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
4	令和元年度長門市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
5	令和元年度長門市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
6	令和元年度長門市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
7	平成30年度長門市水道事業会計決算の認定について	認定
8	平成30年度長門市下水道事業会計決算の認定について	認定
9	長門市会計年度任用職員の給与等に関する条例	原案可決
10	長門市印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決
11	長門市人事行政の運営等状況の公表に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
12	長門市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決

議案番号	件名	結果
13	長門市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
14	長門市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
15	長門市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
16	長門市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例	原案可決
17	長門市水道給水条例の一部を改正する条例	原案可決
18	市の区域内の字の区域の変更について	原案可決
19	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任
報告1	専決処分の報告について（自動車事故に係る損害賠償の額を定めることについて）	—
報告2	専決処分の報告について（自動車事故に係る損害賠償の額を定めることについて）	—
報告3	権利の放棄について	—
報告4	権利の放棄について	—

※報告1～4については報告のみ

その他の委員会付託議案 (条例)



適正な勤務条件等の確保を

▶ 議案第 9 号 長門市会計年度任用職員の給与等に関する条例

臨時職員は会計年度任用職員に移行

この条例は、地方公務員法の一部改正により令和 2 年 4 月 1 日から会計年度任用職員制度が導入されることから、この会計年度任用職員の給与等について、必要な事項を条例で定めるものです。委員会審査では、委員から会計年度任用職員全員をパートタイムで雇用することとしているが、勤務体制を構築できるのかとの質疑があり、執行部から「現在雇用中のパートタイム制の臨時職員の任用時間延長や、新たな職員の雇用により、対応可能であると考えている」との答弁がありました。

次に委員から任用の更新手続きについて質疑があり、執行部から「人事評価が義務付けられていることから、評価を行い能力の実証を得てから任用の更新をすることとしている」との答弁がありました。さらに委員から期末手当支給の条件及び対象人数について質疑があり、執行部から「適当

たりの勤務時間が 30 時間以上の職員に支給することとしており、対象となるのは会計年度任用職員への移行が見込まれる職員 450 人のうち 149 人である」との答弁がありました。

討論では、委員から「いつでも雇い止めが可能な有期雇用の非正規職員に変わりがないことや、労働条件面で正規職員との格差を残したまま、義務や規律、処罰だけは正規職員並みであること、また非正規雇用を合法化し、非正規化を進めることにつながりかねない等の理由から認められない」との反対意見がありました。

附帯決議案を可決

採決の後、委員からこの条例の運用に当たっては移行する職員にとって不利益が生じることのないよう、適正な勤務条件の確保を求める附帯決議案の動議が提出され、可決しました。



給食費免除の条件は

▶ 議案第 14 号

長門市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

この条例は、内閣府令「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準」が改正されたことから、所要の改正を行うものです。

委員会の審査では、委員から給食費免除となる条件について質疑があり、執行部から「市民税所得割額が、一号認定については 7 万 7,101 円未満の世帯。二号認定については 5 万 7,700 円未満の世帯、ただし一人親世帯は 7 万 7,101 円未満の世帯が対象となる」との答弁がありました。討論では、委員から「無償化の財源を低所得世帯ほど負担の重い消費税にしていることなどから認められない」との反対意見がありました。

業者に対する周知方法は

▶ 議案第 17 号

長門市水道給水条例の一部を改正する条例

これは水道法の一部改正に伴い、指定給水装置工事事業者に対する指定の更新制が導入されることから、所要の改正を行うものです。委員会審査では、委員から現行制度で指定を受けている業者に対する改正内容の周知について質疑があり、執行部から「10 月より指定給水装置工事事業者制度における指定の更新制が導入され更新期間は 5 年となるが、初回の更新までの有効期間は、本市においては合併時に一括して再指定しているため、3 年間の経過措置期間中に更新方法等を業者に周知していきたい」との答弁がありました。

水道・下水道事業会計決算

- ▶ 議案第 7 号 平成 30 年度長門市水道事業会計決算の認定について
- ▶ 議案第 8 号 平成 30 年度長門市下水道事業会計決算の認定について

9 月定例会において、平成 30 年度の長門市水道及び下水道事業会計の決算審査が行われ、決算を認定しました。

水道事業（平成30年度）

■収益的収支（税抜額）

収入額	701,429,607円
支出額	694,352,281円
差し引き（純利益）	7,077,326円

■資本的収支（税込額）

収入額	249,146,760円
支出額	559,661,351円
差し引き（不足額）	310,514,591円

下水道事業（平成30年度）

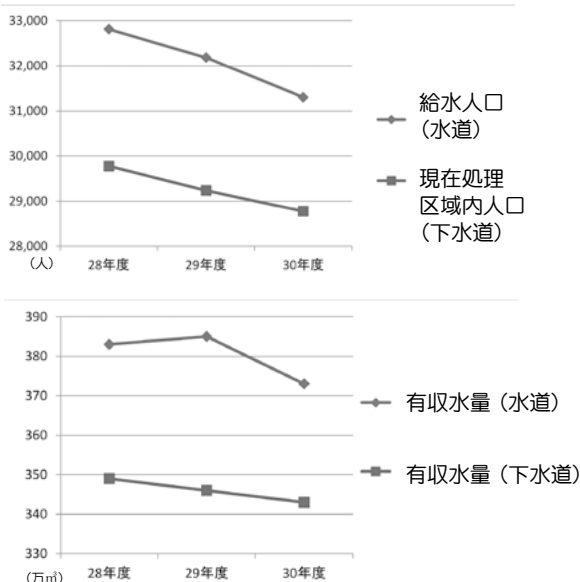
■収益的収支（税抜額）

収入額	1,672,309,440円
支出額	1,672,309,440円
差し引き（純利益）	0円

■資本的収支（税込額）

収入額	959,341,517円
支出額	1,347,834,945円
差し引き（不足額）	388,493,428円

給水人口・有収水量等の推移



水道決算

有収率向上のための漏水対策は

有収率は平成 28 年度 81.1%、29 年度 78.0%、30 年度は 76.3%と年々低くなっており、国の年鑑指標 84.8%と比較しても低い水準である。布設後 40 年を経過した老朽管が急速に増えていることから漏水も増えており、老朽管更新計画に基づく水道管路の計画的な改良・更新工事の施工及び緊急的な漏水対応のための修繕費の確保に努めるなど、有収率の改善に取り組む。

水道ビジョンの進捗状況は

老朽管更新計画に基づいた水道管路の継続的な改良更新を行い、今年度より着手した湯本浄水場の更新事業、そのほか下川西浄水場の能力を補う新浄水場の整備、下郷第 1 水源や三隅中水源の紫外線処理設備、田屋の三上山配水池の更新を順次計画していく予定である。いずれも更新事業費の抑制と年間の事業費の平準化を行いながら取り組んでいき、今年度中に水道事業の経営戦略の策定を行う。

下水道決算

不明水等の対策は

下水道管の老朽化による不明水の侵入、地下水の侵入には、降水時に流量の上がる処理場の地区に出向き調査等を実施対応する。

将来構想を踏まえた経営戦略を

平成 28 年 2 月に「汚水処理施設整備構想」を策定した。これを受け公共のストックマネジメントや農集の最適整備構想、漁集の機能保全計画、

料金の改定は

監査意見書の中に「現状の情報開示に努め、受益者負担の原則を含めた水道料金の在り方について検討を進められ、一層の経営の効率化を推進されたい」とある。今後、下水道審議会を「上下水道審議会」に改めて水道も含めて料金の部分の検討に入ることになっている。まず行政経営的に内部で検討した案を持ち寄り、それを審議会に示しながら徐々に取り組んでいく。

これら将来の投資の計画が出揃った段階で今の経営戦略に反映させていく。



交通弱者への対策を

問 本市では長門市地域公共交通網形成計画に基づき交通手段が確保されているが、今後高齢化がさらに進む中、新たな交通手段についてどのように考えているか。

答 高齢者が運転免許証を安心して返納できる環境を整備し、自家用車に頼らない生活を支える公共交通の構築が重要である。現在、福祉タクシー券の導入を検討しているほか、既存の乗合タクシー等における利用者ニーズの動向調査、スクールバスの活用に向けた実証運行の検討も行っている。

問 渋木大坪地区では、市からミニ二バンを借り、地域の人が交代で運転して月に1回病院に行く高齢者移送サービスがある。しかし、月に1回では利用しにくいと考えるが改善は出来ないか。

答 現在サービスを利用されている方や運行主体である地元自

治会の意見を参考にし、改善について検討していく。

高齢者・障害者に対する窓口業務の改善は

問 本市では9月から新庁舎になったが、障害者差別解消法に即した職員の対応要領の活用や高齢者への窓口業務はどのように改善されたのか。

答 ハード面では、障害者や高齢者をはじめ来庁者の利便性に配慮した窓口になり、ソフト面では障害者に対応する場面が多い市民福祉部の全職員に障害者差別解消法に即した職員の対応要領を配付し、窓口業務に活用するよう意識付けをした。

▼乗合タクシー



しごとセンターを

企業誘致の拠点に

問 市内産業の魅力の発信や人材育成、創業支援ができる環境を整えることを目的に、長門市しごとセンターが開所してから1年が経つが、これまでの実績は。

答 市内の中高生、地元企業等との連携による本市の地域特性を生かした14のキャリア教育プログラムの開発を行い、延べ365人が参加している。また、合同企業ガイダンス、簿記講座やキャリアアップセミナー等も実施しており、人材育成の支援拠点として若者・女性・高齢者等、多様な人材の活用による労働力不足の解消、企業の成長支援を行っている。

問 起業・創業の相談をしごとセンターと商工会議所や商工会で行っている。ワンストップ化として、しごとセンターには各種相談できる専門スタッフが必要ではないか。

答 専門スタッフを置くほどの相談件数が見込まれない。これまでの相談実績の検証を行い、どういった支援体制が市内業者に必要なのか、商工会議所や商工会の意見を伺いたい。

問 市では、サテライトオフィス誘致促進事業があるが、しごとセンター内では利用がない。ベンチャー企業やIT関連企業の誘致を進めていく必要があるが戦略はあるのか。

答 長門・俵山道路の開通による交通アクセスの向上や今年度から着手した市内全域への光ファイバー網の整備によりベンチャー・IT関連企業の誘致が進めやすくなったと考える。

▼しごとセンター





一般質問



早川 文乃
議員

市民協働によるまちづくり

問 平成24年7月に「長門市みんなで進める市民協働によるまちづくり条例」を制定し、「弱体化した集落機能の再生」と「市民活動団体の活性化」の二本柱で進めてきたが、この達成状況の評価と現状における課題、今後の取り組みについて問う。

答 集落機能再生事業では、まちづくり協議会への集落支援員の配置、各種リーダー研修等により、地域課題の解決や地域の計画づくりの取り組み事例も増えているが、協議会への若年層の参加者が少ないことや、自主財源の確保には課題が残る。引き続き若年層への啓発や政策アドバイザーを活用した集落支援員への相談等支援を行っていく。

市民活動団体活性化事業については、複数年にわたる活動や補助終了後も自主運営で活動する団体もあり、団体育成についても一定の効果があったと考えるが、自主

財源確保に向けた助言など必要な支援を継続して行う。

問 研修等を通じ市民協働によるまちづくりを理解している市職員が、積極的に地域活動に参加し、市民目線で事業を検証するための環境整備について問う。

答 地域活動に参加することは、市の施策が職員を通じて市民に周知され、様々な意見交換ができる重要な役割を果たすことから、職員が地域づくり支援員として業務中に活動する際には職務専念義務の免除の規定を適用している。また、職場においても職員各自が行う市民協働に係る活動の情報共有を進めるなど、参加しやすい雰囲気構築を進めていく。

▼自治会長ワークショップ



綾城 美佳
議員

宿泊客を増やす取り組みを

問 ルネッサながとは全国に誇る文化施設である。観光と結びつけた取り組み強化が必要。そのためにはルネッサながと観光を結びつけていくための環境を市がしっかりと整える必要があると思うがどうか。

答 観光地や道の駅などへの波及効果も見込めるため、ルネッサながとの活用は、大いに観光に結びついているものと考えている。インバウンド向けの観光サイトや外国船クルーズ等の客に対して、ルネッサながとを絡めた情報提供を行っていく。

問 外国人観光客誘致は広域で取り組みなければならぬ。全国や世界から見たら長門市の知名度はまだ低いため、有名観光地と連携する必要があると考えるが、広域DMOとの連携はどのように考えているのか。

答 外国人旅行者は長期のスケジュールを組むことが多いので、広域的な取り組みも必要である。長門市だけのネームバリューで来る外国人旅行者は少ないため、広域DMOとの連携は重要である。

問 ハイシーズンには元乃隅神社が渋滞し、近隣の住民の暮らしに支障が出ている。渋滞の解消として、予約制の導入や駐車場料金の調整等が必要ではないか。

答 予約制については研究している。適正な観光客数となるよう平準化を図るため、駐車場料金の値上げによる抑制もひとつの方策である。他地域の観光地の取り組みや地元の方々の意見を参考にしながら有効な手段を考えたい。

▼ルネッサながとの劇場





災害に強いまちづくりを

問 市長は8年前の就任直後に、全国に誇れるまちとなるための6項目の重点施策を表明しているが、一番に「災害に強いまちづくり」を掲げている。現状の到達点をどう評価しているのか。

答 め、地域防災計画の見直しをはじめ、自主防災組織の育成と機能強化、避難情報や災害情報の伝達手段として、防災行政無線、音声告知端末機、防災メールなど、早い段階で整備が完了した。災害に強いまちづくりに継続して取り組むことは、行政の重要な使命であり、自然災害はいつどこで起きてもおかしくないことを肝に銘じて、今後も引き続き、その対策と必要な予算措置を講じていく。

問 東日本大震災以降、エネルギー供給の在り方を見直す動きが広がっており、災害などによる停電時でも発電した電力を賄える電源自立型のカスヒートポンプ

システムなどがある。施設等の更新時には順次切り替えていくことも必要になるのではないかと考えている。

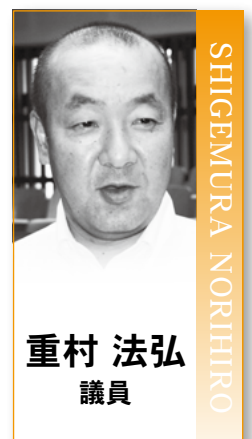
答 公共施設等の更新時にはしっかりと検討していきたい。

子ども医療費助成制度の拡充を

問 子育て世代に選ばれるまちを目指す上でも、子ども医療費助成制度の拡充を図ってはどうか。

答 子育て世代に選ばれるまちをつくるため、各種施策を展開してきた。今年度も日置保育園の整備や放課後児童クラブを拡充してきた。要望の多い子ども医療費助成制度の拡充については検討していく。

▼通小カスヒートポンプエアコン設備



獣害対策の事業効果は

問 農業分野における有害鳥獣対策として平成26年度より市内全域に侵入を防ぐ獣害防止柵を設置してきたが、この事業効果は。

答 本市の獣害対策は、これまで個別の要望に対して支援を行ってきたが、平成26年度からは広域的、面的管理として恒久的対策を行う事として取り組んできた。柵設置が進捗した平成29年度以降は被害額も減少しており効果は着実に出ています。また、道路における通行車両の獣害衝突被害も減少したと聞いており、生活安全面においても一定の評価をしています。

問 設置された柵の所有権はどこにあるのか。また柵の耐用年数は。

答 柵はどの地区も県営事業で設置しているが、設置完了後、県から市に対して財産移管が行われている。よって柵の所

有権は長門市の行政財産となる。また柵の耐用年数については、県から移管される際、柵の処分、制限期間が14年と示されていることから、少なくともこの期間は適切な維持管理に努める必要があると考えている。

問 担い手が減少し、高齢化が進む中、今後の維持管理はどのように考えているのか。

答 日常の見回り、周辺の除草または簡易な補修等は耕作者、受益者をお願いしている。その必要経費等については、中山間地域直接支払制度の活用などで対応してほしい。また大規模な修繕等については市の負担で実施し管理していく。

▼獣害防止柵





議員報酬・期末手当及び定数等

調査研究報告書を提出



▲報告書提出のようす

報告書の内容は
長門市議会サイトで！



こちらのQRコードからも
アクセスしていただけます。

長

門市議会報酬・期
末手当及び定数等
調査研究会（以下

「研究会」）の田村哲郎会長
と林哲也副会長は、8月5

日、武田新二議長に対し

て「議員報酬・期末手当及
び定数等調査研究報告書」
協働型政策議会を旨して
「」を提出しました。

研究会は平成29年度報酬
等審議会の答申を受け、議
長の諮問機関として設置
し、平成30年1月17日の第
1回目の協議を皮切りに、
これまで23回の議論を積み
重ねてきました。

研究会では市民の中にあ
る「報酬・手当等が高い」
という感情の根底には、現
状の議会に対する不信があ
り、その不信感を解消し「市

民から信頼される議会」を
目指して真剣に努力しなけ
ればならないとの認識に
立って、調査・研究に取り
組んできました。

議論の過程で「報酬・定
数」に関する論理をたと
えどんなに緻密に組み立て
ても、その議会・議員が市
民から信頼されていなければ、
そのことは何の意味も
持ちません。

この報告書は、平成29年
度の特別職報酬等審議会の
答申に対する研究会からの
提案及び問題提起です。今
回の報告書を起点として、
特別職報酬等審議会をはじめ、
市民との意見交換を深
める中で「協働型政策議会」
への実現を目指していきた
いと考えています。

議会活動 レポート

第20回市議会議員研修会

議員としての コンプライアンスを学ぶ

第20回山口県市議会議員研
修会（県議長会主催・会長Ⅱ
西村憲治光市議会議長）は8
月9日、柳井市の柳井クルー
ズホテルで開かれました。

午前の講演は千葉県市川市
議会事務局の野村憲一氏を講
師に迎え「ここがポイント！自
治体議員のコンプライアンス」
午後からは地域のグロー
バル化とダイバーシティ「外
国人と労働環境」と題して、
杉田昌平弁護士による講演が
行われ、参加者は熱心に聴講
しました。

自治体議員のコンプライア
ンス（法令遵守）についての
講演では「議員個人と議会全
体のコンプライアンスという
二つの側面があり、議員の不
祥事に対して、議会としてど
う対応するかが問われている。
議員は、選挙で選ばれた住民
代表であり、『公人』『選良』

という、ある種のラベルを背
負っており、住民が注目する
なかで、その範として行動す
ることを期待されている」と
述べ、地方自治法もその前提
で議会制度を定めていること
や、一般の人よりも高いレベ
ルでコンプライアンスが求め
られていると強調しました。

外国人と労働環境について
の講演では、ベトナムでの経
験も踏まえ「日本で働く外国
人の受け入れを拡大する改定
出入国管理法が4月から施行
された。改定入管法は、人手
不足とされる業種で外国人労
働者の受け入れを拡大するた
め、『特定技能』という新たな
在留資格を設けることなどが
柱である」と述べ、外国人材
に関わる制度や労働関係法令、
地方自治体における多文化共
生社会への対応策や課題が示
されました。

まちかどトーク

市民と議員が語る議会報告会

市内
18会場
で開催

今年度の議会報告会は、8月から翌年1月にかけて1グループ3名の議員により、市内18会場（長門地区4カ所、日置地区6カ所、三隅地区4カ所、油谷地区4カ所）を予定しています。現在6会場で意見交換会を終えたところですが、ここでは参加者からいただいた要望・意見・提案の一部をご紹介します。

残りの12カ所についても今後開催しますので、ぜひお越しいただきご意見等をお聞かせください。これからの議会活動の参考にさせていただきます。

- 現在多くの負債を抱えている本市でセンザキツチンや新庁舎建設、湯本温泉開発事業等さまざまな大型事業を行っているが、市の財政は大丈夫なのか。
- 道の駅センザキツチンの運営について、どのような考えをもっているのか。
- 鳥獣被害対策として柵を設置したが、あまり効果がみられない。
- 見合った働きをするのであれば、議員報酬や定数に関しては多いとは思わない。

8/11

渋木中区公会堂



▲渋木中区公会堂

- 市民生活の公平性の面から、合併浄化槽および下水道利用者の使用料金の整合性を図っていただきたい。
- 獣害防護柵の有効性について、しっかりと調査・研究していただきたい。
- 地区住民の高齢化で道路維持や草刈り等の管理は困難である。
- 議員報酬については、少し高いと思うが、定数は小さな自治会等の声を拾い上げるためにも、むしろ増やしてほしい。

8/18

日置北山集会所



▲日置北山集会所



▲矢ヶ浦集会所

8/19

日置矢ヶ浦集会所

- 高齢者が多くなっているため道路等の清掃作業が難しく雑草が刈れないため困っている。
- 地区内にはバスが通っていないが、今後福祉タクシーについて考えていただきたい。
- 市道の亀裂等の改修や災害が発生した場合の連絡網を作成してほしい。
- 市の人口が年々減少している中、議員定数も削減するべき。議会閉会中の活動を市民にしっかり知らせてほしい。



▲青海集落センター

8/23

仙崎青海集落センター

- 高山千年の森の維持管理について、誰が行うのか。
- 青海湖の堆積物および水草の処理をしてほしい。
- 廃校などの公共施設の跡地利用をしっかりとっていただきたい。
- このような交流会は今後も続けていただきたい。
- 議員定数については地域・周辺部の声が届かなくなる可能性がある。このままでよい。



▲渋木坂水公会堂

9/3

渋木坂水公会堂

- 草木等により側溝が詰まり水がたまり、道路に溢れることがないよう管理をおこなっていただきたい。
- 獣害防護柵が設置されたが、あまり効果がみられない。
- 地区内において近年、不法投棄が数多くみられるが対策を講じていただきたい。
- 地区内に多くの高齢者がいる。現在乗り合いタクシーが真木まで入っているが、今後坂水まで来るようにできないのか。



▲一円公会堂

9/6

日置一円公会堂

- 掛淵川周辺に草木が生い茂り、大雨の時には氾濫しないか心配である。
- 草むらに大型家電が捨ててあるなど、不法投棄の問題が深刻である。
- 地区内にスーパーがなく、多くの住民が買い物に困っている。
- 現在、地区内にはデマンドバスが走っているが、もう少し利用しやすくしていただきたい。

☀ 新庁舎の議場が開場

9月定例会が新庁舎初の議会となりました。開会前に議員全員が議場に一礼をして入場し、武田議長が「これまで以上に活発な議論を経て議会の発展を図り、市民の意見を十分に反映された政策や条例が生まれることを期待しています」とあいさつしました。



▲開会前行事

☀ 表紙の説明

9月12日、総務民生委員会はゴミの減量等の取り組みを学ぶため、浜木の長門市清掃工場リサイクル施設と境川の一般廃棄物最終処分場の視察を行いました。リサイクル施設ではプラスチック製容器包装類の圧縮梱包処理が行われています。また、一般廃棄物最終処分場では設置から15年が経ち、処分場の容量の約半分まで不燃残渣や焼却残渣等が搬入されていました。

☀ まちの声



久永 信也 さん(28歳)
東深川在住(理容師)

長門市議会に関してインタビューを行いました

- Q 議会だよりを読まれていますか。またフェイスブックで活動発信をしていますが見られていますか。
- A 議員さんの活動や考え、長門市の諸問題やそれに対しての取り組みを知ることができるので、議会だよりもフェイスブックも拝見しています。
- Q 地域で活動をされていますか。
- A 市内の若者で「ぼくらの長門」というグループを作り、ハロウィンイベント等地域一体となって長門市が活性化していけるよう取り組んでいます。
- Q 議会、議員に望むことがあれば教えてください。
- A ぜひ私たちが企画するイベント等に足を運んでいただき、若者の声を聞いて欲しいです。そして、一緒に長門市の発展に努めていただきたいと思います。

☀ 編集後記

▶食欲の秋が到来しました。秋刀魚や松茸などおいしいものの旬が満載でつい食べ過ぎてしまいそうです。ダイエットを始めて5年経ちますが体重を維持するために私が続けているのは食事の最初に野菜や海藻を食べることです。これらは低カロリーで、ビタミンや食物繊維を

含んでおり、先に食べることで満腹感を得られ、食べ過ぎを防げます。▶地元の旬な食材が味わえるセンザキッチンがオープンから2年が経過。口コミで人気道の駅ランキング5位を獲得し、多くの人で賑わっています。この賑わいが5年、10年続くようにと願ってやみません。(吉津)

ながと市議会だより
発行／山口県長門市議会
編集／議会広報広聴特別委員会
広報担当

委員長	先野 正 宏
副委員長	吉 津 弘 之
委 員	林 哲 也
	南 野 信 郎
	岩 藤 睦 子
	早 川 文 乃
	綾 城 美 佳